



## 2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年4月27日

上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社豊田自動織機  
 コード番号 6201 URL <https://www.toyota-shokki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大西 朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大岩 昭宏 (TEL) 0566-22-2511  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月9日 配当支払開始予定日 2023年5月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月16日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,379,891	24.9	169,904	6.8	262,967	6.8	198,716	7.2	192,861	7.0	△26,348	—
2022年3月期	2,705,183	27.7	159,066	34.6	246,123	33.8	185,350	31.0	180,306	31.9	751,823	△12.0

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上高 営業利益率
2023年3月期	円 銭 621.17	円 銭 621.17	% 5.0	% 3.4	% 5.0
2022年3月期	円 銭 580.73	円 銭 580.73	% 5.0	% 3.5	% 5.9

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 3,311百万円 2022年3月期 4,397百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
2023年3月期	百万円 7,821,185	百万円 3,935,401	百万円 3,837,416	% 49.1	円 銭 12,359.66
2022年3月期	百万円 7,627,120	百万円 4,021,967	百万円 3,928,513	% 51.5	円 銭 12,653.04

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2023年3月期	百万円 194,964	百万円 △427,642	百万円 183,690	百万円 202,731
2022年3月期	百万円 321,085	百万円 △229,805	百万円 △92,114	百万円 247,085

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 —	円 銭 90.00	円 銭 170.00	百万円 52,781	% 29.3	% 1.5
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 90.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 190.00	百万円 58,991	% 30.6	% 1.5
2024年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 200.00	百万円 —	% 31.8	% —

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,500,000	3.6	180,000	5.9	265,000	0.8	195,000	1.1	628.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年3月期	325,840,640株	2022年3月期	325,840,640株
2023年3月期	15,361,522株	2022年3月期	15,360,786株
2023年3月期	310,479,519株	2022年3月期	310,480,569株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本決算短信に記載されている将来に関する事項は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等の不確実性により、変更される可能性があります。
- ・為替レートにつきましては、1USドル130円、1ユーロ135円を前提としております。
- ・業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期の経済情勢を概観しますと、世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動制限の緩和などにより回復がみられたものの、ウクライナ情勢の影響による原材料、エネルギー価格の高騰を発端とした世界的なインフレ進行、各国の政策金利の引上げに伴う景気後退懸念の高まりなど、先行き不透明感が高まりました。また、日本経済は、急速な円安に伴う物価高騰などの影響により回復は緩やかなものとなりました。このような情勢のなかで、当社グループは、品質優先を基本に、お客様の信頼におこたえしますとともに、各市場の動きに的確に対応して、販売の拡大に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高につきましては、前連結会計年度を6,747億円(25%)上回る3兆3,798億円となりました。

利益につきましては、原材料の値上がり、人件費の増加、物流費の増加などがありましたものの、売上の増加、為替変動による影響、グループあがての原価改善活動の推進などにより、営業利益は前連結会計年度を109億円(7%)上回る1,699億円、税引前利益は前連結会計年度を168億円(7%)上回る2,629億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前連結会計年度を125億円(7%)上回る1,928億円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

自動車におきましては、市場は日本では前期並みとなったものの、中国や北米が牽引し、世界全体で拡大しました。こうしたなかで、当セグメントの売上高は前連結会計年度を1,650億円(21%)上回る9,578億円となりました。営業利益は前連結会計年度を16億円(5%)上回る346億円となりました。

このうち車両につきましては、トヨタ「RAV4」が国内向けは増加したものの、海外向けが減少したことにより、売上高は前連結会計年度並みの831億円となりました。

エンジンにつきましては、主にガソリンエンジンが増加したことにより、売上高は前連結会計年度を548億円(20%)上回る3,224億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、北米や欧州で増加したことにより、売上高は前連結会計年度を736億円(21%)上回る4,297億円となりました。

電子機器ほかにつきましては、電池やDC-DCコンバーターなどが増加したことにより、売上高は前連結会計年度を370億円(43%)上回る1,225億円となりました。

産業車両におきましては、市場は欧州などで低迷し、世界全体で縮小しました。そのなかで、主力のフォークリフトトラックが主に北米で増加したことにより、売上高は前連結会計年度を4,944億円(28%)上回る2兆2,838億円となりました。営業利益は前連結会計年度を82億円(7%)上回る1,218億円となりました。

繊維機械におきましては、市場は主力の中国を含むアジアで堅調に推移しました。こうしたなかで、紡機や繊維品質検査機器が増加したことにより、売上高は前連結会計年度を151億円(22%)上回る843億円となりました。営業利益は前連結会計年度を23億円(41%)上回る78億円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

資産につきましては、主に営業債権及びその他の債権が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,940億円増加し、7兆8,211億円となりました。負債につきましては、主に社債及び借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2,806億円増加し、3兆8,857億円となりました。資本につきましては、前連結会計年度末に比べ865億円減少し、3兆9,354億円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前利益を2,629億円計上したことにより、1,949億円の資金の増加となりました。前連結会計年度の3,210億円の増加に比べ、1,261億円の減少となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が8,318億円あったものの、定期預金の預入により9,194億円を支出したことや、有形固定資産の取得により2,899億円を支出したことで、4,276億円の資金の減少となりました。前連結会計年度の2,298億円の減少に比べ、1,978億円の支出の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入が3,548億円あったことにより、1,836億円の資金の増加(前連結会計年度は921億円の資金の減少)となりました。

これらの増減に加え、換算差額、期首残高を合わせますと、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は2,027億円となり、前連結会計年度末に比べ443億円(18%)の減少となりました。

### (4) 今後の見通し

#### ①フォークリフト用エンジン認証での法規違反への対応

当社のフォークリフト用エンジンの経年劣化による排出ガス国内規制値の超過と、排出ガス国内認証に関する法規違反につきましては、今後、関係省庁の判断、指示を踏まえ、出荷再開、市場措置に向け取り組んでまいります。あわせて、これまでに行った外部弁護士による調査に加え、独立した外部有識者による特別調査委員会の調査結果をもとに、本件内容の解明および真因分析、これらに基づく再発防止を実施してまいります。

#### ②事業に対する取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にある一方、半導体不足、地政学的緊張の高まりを受けた資源価格の高騰や供給制約等の長期化懸念他により、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

一方で、カーボンニュートラル実現に向けた世界的な取り組みの加速やデジタル化の進展など、政治、経済、テクノロジーの分野における変化は著しく、当社の主要な事業である自動車、産業車両分野においても、電動化、自動運転領域の開発の進展や、IT、デジタル技術の活用による新規参入や業界構造の変化が生じており、企業間の競争がますます激しくなっております。

次期の見通しにつきましては、連結売上高 3兆5,000億円、営業利益 1,800億円、税引前利益 2,650億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,950億円といたしました。セグメント別の売上高では、自動車セグメント 1兆460億円、産業車両セグメント 2兆3,300億円などであります。

なお、為替レートにつきましては、1 USドル130円、1 ユーロ135円を前提としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、グループ経営における会計情報分析力の強化や、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、国際会計基準(IFRS)を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	247,085	202,731
預入期間が3ヶ月超の定期預金	328,674	420,173
営業債権及びその他の債権	1,121,491	1,398,757
その他の金融資産	12,672	5,399
棚卸資産	433,961	524,385
未収法人所得税	28,906	26,262
その他の流動資産	83,034	99,313
流動資産合計	2,255,827	2,677,024
非流動資産		
有形固定資産	1,134,074	1,237,540
のれん及び無形資産	395,882	468,368
営業債権及びその他の債権	2,334	1,459
持分法で会計処理されている投資	21,337	23,987
その他の金融資産	3,734,978	3,338,505
退職給付に係る資産	37,408	27,887
繰延税金資産	39,908	37,992
その他の非流動資産	5,368	8,421
非流動資産合計	5,371,292	5,144,161
資産合計	7,627,120	7,821,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	745,553	807,474
社債及び借入金	468,504	519,749
その他の金融負債	82,909	83,749
未払法人所得税	27,281	29,696
引当金	15,415	41,827
その他の流動負債	33,058	34,615
流動負債合計	1,372,721	1,517,112
非流動負債		
社債及び借入金	922,011	1,179,390
その他の金融負債	95,237	104,404
退職給付に係る負債	91,677	81,422
引当金	11,809	11,025
繰延税金負債	1,078,641	952,960
その他の非流動負債	33,054	39,467
非流動負債合計	2,232,430	2,368,671
負債合計	3,605,152	3,885,784
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	102,388	101,245
利益剰余金	1,514,657	1,652,648
自己株式	△59,339	△59,345
その他の資本の構成要素	2,290,343	2,062,404
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,928,513	3,837,416
非支配持分	93,454	97,985
資本合計	4,021,967	3,935,401
負債及び資本合計	7,627,120	7,821,185

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,705,183	3,379,891
売上原価	△2,097,501	△2,623,707
売上総利益	607,682	756,183
販売費及び一般管理費	△455,165	△576,761
その他の収益	20,942	28,230
その他の費用	△14,391	△37,748
営業利益	159,066	169,904
金融収益	89,941	103,728
金融費用	△7,282	△13,976
持分法による投資損益	4,397	3,311
税引前利益	246,123	262,967
法人所得税費用	△60,773	△64,250
当期利益	185,350	198,716
当期利益の帰属		
親会社の所有者	180,306	192,861
非支配持分	5,043	5,855
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	580.73	621.17
希薄化後1株当たり当期利益(円)	580.73	621.17



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期利益	185,350	198,716
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産に係る評価差額	465,900	△284,805
確定給付制度の再測定	13,943	576
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	19	1
純損益に振替えられることのない項目 合計	479,863	△284,227
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	84,380	56,074
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,126	2,931
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	1,102	156
純損益に振替えられる可能性のある項目 合計	86,610	59,162
税引後その他の包括利益合計	566,473	△225,065
当期包括利益	751,823	△26,348
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	742,088	△34,061
非支配持分	9,735	7,713

## (3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					FVTOCIの金融 資産に係る 評価差額	確定給付制度 の再測定
2021年4月1日残高	80,462	102,307	1,369,775	△59,321	1,779,685	—
当期利益	—	—	180,306	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	466,017	13,896
当期包括利益	—	—	180,306	—	466,017	13,896
自己株式の取得	—	—	—	△18	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
剰余金の配当	—	—	△49,676	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動	—	81	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	14,252	—	△355	△13,896
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	81	△35,424	△18	△355	△13,896
2022年3月31日残高	80,462	102,388	1,514,657	△59,339	2,245,347	—
当期利益	—	—	192,861	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△284,915	685
当期包括利益	—	—	192,861	—	△284,915	685
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
剰余金の配当	—	—	△55,886	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動	—	58	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	1,015	—	△330	△685
その他の増減	—	△1,201	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,143	△54,870	△5	△330	△685
2023年3月31日残高	80,462	101,245	1,652,648	△59,345	1,960,101	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2021年4月1日残高	△39,082	2,211	1,742,814	3,236,038	86,511	3,322,550
当期利益	—	—	—	180,306	5,043	185,350
その他の包括利益	80,740	1,126	561,781	561,781	4,692	566,473
当期包括利益	80,740	1,126	561,781	742,088	9,735	751,823
自己株式の取得	—	—	—	△18	—	△18
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△49,676	△2,260	△51,937
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	81	△1,066	△984
連結範囲の変更による非支配持分の変動	—	—	—	—	534	534
利益剰余金への振替	—	—	△14,252	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△14,252	△49,613	△2,792	△52,405
2022年3月31日残高	41,657	3,338	2,290,343	3,928,513	93,454	4,021,967
当期利益	—	—	—	192,861	5,855	198,716
その他の包括利益	54,374	2,931	△226,922	△226,922	1,857	△225,065
当期包括利益	54,374	2,931	△226,922	△34,061	7,713	△26,348
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△55,886	△2,674	△58,560
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	58	△508	△449
連結範囲の変更による非支配持分の変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△1,015	—	—	—
その他の増減	—	—	—	△1,201	—	△1,201
所有者との取引額合計	—	—	△1,015	△57,035	△3,182	△60,217
2023年3月31日残高	96,032	6,269	2,062,404	3,837,416	97,985	3,935,401

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	246,123	262,967
減価償却費及び償却費	223,737	257,762
減損損失	2,368	2,634
受取利息及び受取配当金	△84,203	△95,424
支払利息	4,868	10,111
持分法による投資損益(△は益)	△4,397	△3,311
棚卸資産の増減額(△は増加)	△110,613	△70,207
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△81,246	△225,489
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	93,537	29,619
その他	12,496	7,241
小計	302,671	175,904
利息及び配当金の受取額	84,921	95,920
利息の支払額	△4,999	△9,919
法人所得税の支払額	△61,507	△66,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,085	194,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△237,371	△289,974
有形固定資産の売却による収入	16,415	19,660
投資有価証券の取得による支出	△1,406	△1,624
投資有価証券の売却による収入	651	541
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△14,905	△36,486
定期預金の預入による支出	△935,461	△919,474
定期預金の払戻による収入	961,239	831,815
事業譲受による支出	△529	△2,104
その他	△18,438	△29,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,805	△427,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金(3ヶ月以内)の純増減額(△は減少)	26,622	59,426
短期借入れ(3ヶ月超)による収入	136,079	82,054
短期借入金(3ヶ月超)の返済による支出	△112,363	△158,332
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	40,590	112,121
長期借入れによる収入	233,551	354,876
長期借入金の返済による支出	△180,482	△130,782
社債の発行による収入	13,205	103,314
社債の償還による支出	△184,066	△165,036
リース負債の返済による支出	△16,453	△40,910
自己株式の取得による支出	△18	△5
配当金の支払額	△49,676	△55,886
非支配持分への配当金の支払額	△2,260	△2,674
その他	3,156	25,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,114	183,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,671	4,632
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,837	△44,353
現金及び現金同等物の期首残高	238,248	247,085
現金及び現金同等物の期末残高	247,085	202,731

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他	合計	調整額	連結	
売上高								
外部顧客への売上高	792,813	1,789,434	69,215	53,720	2,705,183	—	2,705,183	
セグメント間の内部 売上高または振替高	28,512	507	284	28,897	58,201	△58,201	—	
計	821,326	1,789,941	69,499	82,617	2,763,385	△58,201	2,705,183	
セグメント利益 または損失(△)	33,007	113,616	5,549	7,147	159,319	△253	159,066	
セグメント資産	748,397	2,431,790	71,994	262,429	3,514,612	4,112,507	7,627,120	
金融収益								89,941
金融費用								△7,282
持分法による投資損益								4,397
税引前利益								246,123

(注) 1 各報告セグメントの区分に属する製品およびサービスの種類

自動車 …………… 車両、エンジン、鋳造品、カーエアコン用コンプレッサー、電子機器

産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車、

物流ソリューション、販売金融

繊維機械 …………… 織機、紡機、糸品質測定機器、綿花格付機器

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要なサービスは、陸上運送サービスであります。

3 セグメント利益または損失(△)の調整額△253百万円は、主にセグメント間取引消去であります。セグメント資産の調整額には、全社資産が含まれております。

その主なものは、提出会社の現金および預金、有価証券および投資有価証券であります。

4 セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他	合計	調整額	連結	
売上高								
外部顧客への売上高	957,803	2,283,833	84,309	53,943	3,379,891	—	3,379,891	
セグメント間の内部 売上高または振替高	35,132	1,088	279	32,224	68,724	△68,724	—	
計	992,936	2,284,922	84,589	86,167	3,448,616	△68,724	3,379,891	
セグメント利益 または損失(△)	34,636	121,856	7,807	5,418	169,718	185	169,904	
セグメント資産	837,701	2,904,760	78,540	298,531	4,119,533	3,701,652	7,821,185	
金融収益								103,728
金融費用								△13,976
持分法による投資損益								3,311
税引前利益								262,967

- (注) 1 各報告セグメントの区分に属する製品およびサービスの種類  
自動車 …………… 車両、エンジン、鋳造品、カーエアコン用コンプレッサー、電子機器、電池  
産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車、  
物流ソリューション、販売金融  
繊維機械 …………… 織機、紡機、糸品質測定機器、綿花格付機器
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要なサービスは、陸上運送サービスであります。
- 3 セグメント利益または損失(△)の調整額185百万円は、主にセグメント間取引消去であります。セグメント資産の調整額には、全社資産が含まれております。その主なものは、提出会社の現金および預金、有価証券および投資有価証券であります。
- 4 セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

## (1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

## ① 親会社の普通株主に帰属する当期利益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益	180,306	192,861

## ② 普通株式の加重平均発行済株式数

(単位：千株)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
普通株式の加重平均発行済株式数	310,480	310,479

## (2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため、同額としております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。